



Yonago East Weekly

「自分にチャレンジ！自分に奉仕！そして、ロータリーを楽しもう！」

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
- 会長/小谷維夫 ●幹事/永島清孝 ●会報/足立博俊

会員数83名

今週のお祝い

創立記念祝: 1日 足立日出男君、村上一平君、野坂裕一君、田淵亮達君、植田三男君 2日 細田耕治君 10日大濱宏一君 22日中村剛士君 10月 新納哲雄 君
出席100%祝: 2年 石部裕一君 15年 尾沢三夫君 20年 木美俊彦君

会長挨拶

皆さん、こんにちは。
 今日のお客様は青少年交換留学生のウイリアム・リチャード・ジョンソン君でございます。
 また、ご来訪のロータリアンをご紹介します。
 八尾東RC高橋広一様、もう一方、米子RC松本哲也様でございます。

先週26日の阿南・南RCをお迎えしての夜間例会“観月夜間例会”皆様、本当にご苦労さまでございました。畠山様をはじめ、阿南・南RC大変盛り上がりました。大いに親睦を深めることができました。例会の後の二次会、米子に出かけ大変盛り上がりました。帰りましたら、ちょうど12時でございました。翌日は阿南南の方と観光組、また、ゴルフ組と大変盛り上がりました。阿南南の皆さん、親戚同士、兄弟同士で、二日間たいへん楽しい楽しいロータリーライフを満喫しました。ほんとにありがとうございました。

小谷年度は無事に3ヶ月を迎えました。皆さんのロータリーに対する熱意、情熱のおかげであります。有り難うございます。今月から、12月のクリスマス家族会まで、前期の後半の3ヶ月が始まります。また、一方では、小谷年度と並行して、今月に入り、木美年度の段取り方がすでに始まっております。

私、会長と致しましては、既に終えた3ヶ月、また、クリスマス家族会までの3ヶ月、そして後期の6ヶ月を皆様方と共にどう運営して行くのか。この時期に、反省点、見直し、も含めて“取り組みの考え方について”今一度点検して見てはと思っ

ております。

会長としては、わずか3ヶ月でございます。いろいろな“物事”に対しての、“落ち”や“配慮”がどうか、考えることがあります。

では如何するのか。諸先輩方のお知恵を拝借することと致しました。元会長会の開催です。やはり、物事、時として、いろいろなご指摘、アドバイスも必要であります。元会長の方々にはロータリーの家族として、長兄として、暖かいアドバイスを頂けたらと思っております。よろしく願います。

さて、今月10月は“職業奉仕月間”“米山月間”であります。我々、ロータリー兄弟達が、それぞれの職業が光り輝くように、一生懸命、汗水たらして、自分の仕事に邁進して頂きたいと思ひます。共に頑張りましょう。

幹事報告

1. 手嶋文章会員再入会 理事会にて決定
2. キラリ☆一番星アワード「大山横手道上ブナを育成する会」銀賞受賞
3. ロータリーレート1ドル80円
4. 次期クラブR財団委員長選出依頼
(ガバナー・エレクト事務所より)
5. 9/29鳥取県IAブロック協議会開催
(ホテルサンルート米子)
6. 10/1 G補佐訪問クラブ協議会 (米子南RC)
10/2 G補佐訪問クラブ協議会 (境港RC)
境港RCより お礼状
7. 本日例会後 元会長会
8. 例会変更のお知らせ
倉吉RC10/16(火) 会場変更
ビジター受付あり



Peace Through service

奉仕を通じて平和を

幹事報告

1. 手嶋文章会員再入会 理事会にて決定
2. キラリ☆一番星アワード「大山横手道上ブナを育成する会」銀賞受賞
3. ローターレーテ1ドル80円
4. 次期クラブR財団委員長選出依頼
(ガバナー・エレクト事務所より)
5. 9/29鳥取県IAブロック協議会開催
(ホテルサンルート米子)
6. 10/1 G補佐訪問クラブ協議会 (米子南RC)
10/2 G補佐訪問クラブ協議会 (境港RC)
境港RCより お礼状
7. 本日例会後 元会長会
8. 例会変更のお知らせ
倉吉RC10/16(火) 会場変更
ビジター受付あり

今後の行事予定

- 10/10 第2回家庭集会 (うなばら荘)
10/17 職場訪問 (八幡物産(株))
10/21 大山秋の一斉清掃
10/24 クラブ協議会
(ホテルサンルート米子 3Fあやめなでしこ)
10/26 地区大会記念チャリティゴルフ大会
(倉敷カントリー倶楽部)
10/28 地区大会 (倉敷市民会館)
10/31 休会 (定款第6条)

ウィリアム・リチャード・ジョンソン君 スピーチ

こんにちは、みなさん、9月から2ヶ月間日本で過ごしてみて興味深いことばかりでした。わたしは、初めて、かぶを食べました。ここではアメリカにない体育祭を経験しました。しかし、体育祭のまえには足を怪我してしまいベストを尽くせなかった。残念でした。今後、剣道部での活動も続けていきたいと思います。私の日本語も少し上達してきました。私は、この町に来れたこと、また、この学校に来れたことを皆さんに感謝したいと思います。ありがとうございます。



< プログラム >

ロータリーの友の紹介

北沢 薫 雑誌委員会リーダー



今月は、職業奉仕月間です。
2013年6月のRIの国際大会がポルトガルのリスボンで開催されます。
この写真は、ベルン地区にある発見のモニュメントの写真です。大航海時代の先駆者エンリケ航海王子が先頭に立っていらっしゃいます。
続けて、リスボンの紹介をしたいと思います。ベルンの塔に接する河から、バスコダガマや、マゼランが大航海に出て行き、巨万の富をもたらした河畔です。
リスボンは、現代建築と伝統的な赤いレンガの家がたくさんありますけれども、小さな曲がりくねったアップダウンの通りがみんな広場に通じている。その広場に通じている通りに美しいブルーのタイルを施された建物がたくさんあります。また、サン・ジョルジュ城もあり、リスボンを一言で表現するとしたら、「魅力的」という言葉以外にはないでしょう。
ここは、心やすらぐ、地中海らしい街ですが、同時に現代的な側面も兼ね備えています。
マナーや気配りは、ヨーロッパ的でありながら、食べ物については、野性的なほど積極的です。このようなことを知れば、リスボンに行ってみたい気がします。
このブルーのタイルのリスボンのRI国際大会の早期申込みでは12月15日まで割引料金で申し込めるそうです。

第11回日韓親善会議が8月31日・9月1日に東京で開催されました。
当日は、田中RI会長と、韓国の李東建氏が挨拶をされました。国連難民高等弁務官の緒方貞子さんの特別講演「世界の人々のために」で、JICA関係者としての立場からは、戦後、発展を遂げた日韓に中国を加えた3か国の関係について「政府間で困難が起こったとしても、それが人々のよって、よりよい解決に向くよう話し合うことも可能だと思いますし、特に、良識にとんだ民間の団体として、ロータリーの皆さんに対する期待というものは非常に大きいと思います。」「いま、まさに日本で求められている多様性の認識、外国語の問題について、ロータリーこそ、発信の土台を強固に進めてくれる組織だ。」を紹介され、また、RI会長の田中作次氏の講演について、職業奉仕の考え方を知り、人生が変わったことを紹介されました。

「高校野球について」

杉本真吾 会員



今日からちょうど1か月後にグレン&千杯がこの米子の地で開催されます。

昨年の優勝チームは八尾東RCで、本日は八尾東RCのエースピッチャーである高橋様がお越しになっていらっしゃるので野球の話をさせていただければと思います。

私は、この夏で春夏甲子園大会の解説を87試合させていただいています。甲子園のレギュラー解説者になってから約6年経っています。特に、夏の甲子園大会の開会式では、身が震え、ときには、涙が出るようなときもあります。これは果たして一体何なのか考えてみますと、皆さん夏の甲子園の開会式をNHKでご覧になられるとき注意深く見ていただければ分かると思うのですが、開会式が終わってから第一試合が始まるまで約30分程度ですが、開会式だけを見て帰られる人が何人くらいいらっしゃると思われますか、そもそも開会式だけを見て帰る人がいるのかと疑問に思っている方もいらっしゃるかもしれませんが、開会式だけを見て帰られる人が約1万人いらっしゃいます。この1万人の方は全国各地から来られています、私の知る限りで一番長い方は、昨年亡くなられました日本海テレビの会長様で、この方は学生時代から通算で53年間夏の甲子園欠かさず出席という方ですが、開会式を見たら必ずお帰りになります。なぜ、この夏の甲子園の開会式だけを見るために全国から1万人の方が来られるのか自分なりに考えてみますと、少年野球から始めて硬式野球にたどり着くまでに沢山の方が野球をやめられる、硬式野球にたどり着いても甲子園に出られるのは49代表だけということで、甲子園にたどり着くのは奇跡的な確率でたくさんの方々の後押しがあって初めて出場がかなっている、そういう意味では、日本一のパワースポットが夏の甲子園大会の開会式のなかにあるのではなからうかと思っています。私にとっては、甲子園の開会式は正月を迎えるような気持ちです。

つい先日、秋の鳥取県大会があり、秋の中国大会の出場校が決定いたしました。中国大会には鳥取県から3校出場できるのですが、今年の代表は3校とも私立高校で、優勝したのは米子北高校ですが、優勝候補の鳥取城北高校を破って米子松蔭高校も出場されます。感想を述べますと、米子松蔭高校のすごいところは高校野球では理想的なバッティングスタイルをしている。そして、米子松蔭高校の選手はピンチになっても非常にのびのびと野球を楽しんでいる。このことは、監督さん、部長さんの指導の賜だと思っています。しかし、チームが強くなると口を出す人が多くなってきますが、監督さん、部長さんが盾となって現状の指導を続けて欲しいと思います。強豪米子松蔭高校の復活は近いと思っています。永島理事もこちらにおられますが、ご健闘をお祈りいたします。

次回プログラム

10/10 「鳥取環境大学の紹介」 鳥取県教大学 西部サテライトキャンパス所長 森中 栄 氏

10/17 職場訪問 (八幡物産 (株))

10/24 「これからのアジア」 アシアナ航空株式会社 山陰支店 支店長 太田俊治 氏